

編者・執筆者紹介

(① 現職, ② 経歴・学位, ③ 主要業績)

■ 編者

谷口 洋幸 (たにぐち ひろゆき)

Chapter ⑩, Chapter 12

- ① 高岡法科大学法学部教授
- ② 中央大学大学院法学研究科博士後期課程修了, 博士(法学)
- ③ 「同性婚は国家の義務か」(『現代思想』43巻16号所収) 2015年
『性的マイノリティ判例解説』(共編) 信山社, 2011年
「性同一性障害特例法の再評価——人権からの批判的考察」(『性同一性障害——ジェンダー・医療・特例法』所収) 御茶の水書房, 2008年

綾部 六郎 (あやべ ろくろう)

Chapter 10

- ① 名古屋短期大学現代教養学科助教
- ② 北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得退学
- ③ 「バトラー——フェミニズムとジェンダー概念の革新を目指して」(『現代社会思想の海図——レーニンからバトラーまで』所収) 法律文化社, 2014年
「ジェンダー法学・トラブル!」(『挑発するセクシュアリティ——法・社会・政治へのアプローチ』所収) 新泉社, 2009年
「親密圏のノルム化」(『叢書アレティア 8 批判的社会理論の現在』所収) 御茶の水書房, 2007年

池田 弘乃 (いけだ ひろの)

Chapter 11

- ① 山形大学人文社会科学部准教授
- ② 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得満期退学
- ③ 「ケアへの敬意——倫理から制度へ」(『法哲学年報 2016』所収) 有斐閣, 2017年
「フェミニズム法理論における立法の復権」(『立法学のフロンティア 1』所収) ナカニシヤ出版, 2014年

■ 執筆者

石田 仁 (いしだ ひとし)

Chapter 1

- ① 日工組社会安全研究財団主任研究員
- ② 中央大学大学院文学研究科博士後期課程修了, 博士 (社会学)
- ③ 「富士高校放火事件の再構成——複合差別, セクシュアリティ, (トランス)ジェンダー」(『現代思想』43巻16号所収) 2015年
「戦後日本における『ホモ人口』の成立と『ホモ』の脅威化」(『セクシュアリティの戦後史』所収) 京都大学学術出版会, 2014年
『性同一性障害——ジェンダー・医療・特例法』(編著) 御茶の水書房, 2008年

田巻 帝子 (たまき ていこ)

Chapter 2

- ① 新潟大学法学部教授
- ② 新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了, 博士 (法学)
- ③ 「英国における同性カップルの子育てと養子」(『民商法雑誌』138巻4・5号所収) 2008年
「性同一性障害に関する法の日英比較——家族関係を視点として」(『家族(社会と法)』23号所収) 2007年
“Can One Choose One’s Own Sex?: Gender Identity Disorder and Related Issues of the Individual, Family and Society” (in *Family Life and Human Rights*) Gyldendal, 2004

関 良徳 (せき よしのり)

Chapter 3

- ① 信州大学学術研究院教授
- ② 一橋大学大学院法学研究科博士課程修了, 博士 (法学)
- ③ 「裁判員制度は廃止すべきか?」(『問いかける法哲学』所収) 法律文化社, 2016年
「ポストモダン法学の思想」(『法思想の水脈』所収) 法律文化社, 2016年
「犯罪と刑罰——受刑者の処遇と犯罪被害者の権利」(『現代法哲学講義』所収) 信山社, 2009年

小久見祥恵 (おぐみ よしえ)

Column ①

- ① 同志社大学法学部嘱託講師
- ② 同志社大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了, 博士(法学)
- ③ 「コーネル——『性に関わる存在』の自己再想像」(『現代社会思想の海図——レーニンからバトラーまで』所収) 法律文化社, 2014年
「親密圏への権利アプローチ——キテイの事例を手がかりに」(『法哲学年報2011』所収) 有斐閣, 2012年
「フェミニズム法理論におけるM・A・ファインマンの議論の位置づけ」(『同志社法学』64巻3号所収) 2012年

山下 敏雅 (やました としまさ)

Chapter ④

- ① 弁護士
- ② 東京大学法学部卒業
- ③ 『どうなってるんだろう?子どもの法律——一人で悩まないで!』(共編) 高文研, 2017年

齊藤笑美子 (さいとう えみこ)

Chapter ⑤

- ① 元・茨城大学人文学部准教授, フランス在住
- ② 一橋大学大学院法学研究科博士課程修了, 博士(法学)
- ③ 「婚姻・家族とフランス憲法」(『講座 政治・社会の変動と憲法第Ⅱ巻 社会変動と人権の現代的保障』所収) 信山社, 2017年
「婚外子相続分區別と憲民関係」(『法律時報』85巻5号所収) 2013年
『性的マイノリティ判例解説』(共編) 信山社, 2011年

森 あい (もり あい)

Chapter ⑥

- ① 弁護士
- ② 京都大学総合人間学部卒業, 大阪市立大学法科大学院法曹養成専攻退学
- ③ 『セクシュアル・マイノリティ Q&A』(共編) 弘文堂, 2016年
「『同性』カップルの日本での婚姻について」(共著, 『自由と正義』67巻11号所収) 2016年

- ① 大阪経済法科大学国際学部准教授
- ② 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了, 博士 (国際公共政策)
- ③ 「企業の社会的責任と国際制度——『ビジネスと人権』を事例に」(『論究ジュリスト』19号所収) 2016年
「企業」(『改訂第1版 新グローバル公共政策』所収) 晃洋書房, 2016年
「人間の基本的ニーズの保障と企業活動——人権条約上の国家の義務と企業の責任」(『国際人権』26号所収) 2015年

- ① 埼玉大学基盤教育研究センター准教授
- ② 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学, 博士 (教育学)
- ③ 『セクシュアルマイノリティをめぐる学校教育と支援——エンパワメントにつながるネットワークの構築にむけて 増補版』(共編) 開成出版, 2012年

- ① 鶴見大学短期大学部保育科准教授
- ② 奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了, 博士 (社会科学)
- ③ 「家族再統合後のある里親の語りと喪失体験——社会的養護のパラダイム・シフトと社会的ディレンマ」(『奈良女子大学社会学論集』23号所収) 2016年
「米国児童虐待予防対策法の制定と改正について——法の制定に向けた19世紀から20世紀の社会と背景」(『奈良女子大学人間文化研究科年報』28号所収) 2013年

堀江 有里 (ほりえ ゆり)

Chapter ⑨

- ① 法政大学大原社会問題研究所客員研究員，日本基督教団なか伝道所（横浜寿町）牧師
- ② 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了，博士（人間科学）
- ③ 『生存学研究センター報告24〈抵抗〉としてのフェミニズム』（共編）立命館大学生存学研究センター，2016年（http://www.ritsumeai-arsvi.org/publications/index/type/center_reports/number/24）
『レズビアン・アイデンティティーズ』洛北出版，2015年
『「レズビアン」という生き方——キリスト教の異性愛主義を問う』新教出版社，2006年

吉良 貴之 (きら たかゆき)

Column ③

- ① 宇都宮共和大学シテイライフ学部専任講師
- ② 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得満期退学
- ③ 『世代間正義論』勁草書房，2017年予定
「年金は世代間の助け合いであるべきか？」（『問いかける法哲学』所収）法律文化社，2016年
「法時間論——法による時間的秩序，法に内在する時間構造」（『法哲学年報2008』所収）有斐閣，2009年